



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社雪国まいたけ 上場取引所 東  
コード番号 1375 URL https://www.maitake.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯澤 尚史  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画副本部長 兼 IR・広報部長 (氏名) 岩谷 俊一郎 TEL 025 (778) 0162  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 有  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,172	22.9	△77	-	△90	-	△93	-	△92	-	△70	-
2024年3月期第1四半期	8,274	0.9	△315	-	△413	-	△283	-	△283	-	△280	-

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	△2.	33	△2.	33
2024年3月期第1四半期	△7.	11	△7.	11

#### (参考)

	売上収益		コア営業利益		コアEBITDA		コアEBITDAマージン	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,419	12.8	115	-	681	93.3		9.2
2024年3月期第1四半期	6,578	3.3	△181	-	352	△47.6		5.4

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	36,578		11,049		10,988		30.0	
2024年3月期	38,004		11,520		11,454		30.1	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	1.00	-	10.00	11.00
2025年3月期 (予想)	-	3.00	-	9.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,990	5.3	2,620	△6.8	2,370	5.8	1,570	14.9	1,550	14.1	38.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

#### (参考)

	売上収益		コア営業利益		コアEBITDA		コアEBITDAマージン	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	36,770	9.9	2,840	10.1	5,190	8.1		14.1

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	39,910,700株	2024年3月期	39,910,700株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	16,667株	2024年3月期	16,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	39,884,660株	2024年3月期1Q	39,871,093株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(その他特記事項)

- (1) 当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」という。）を適用しております。
- (2) コア営業利益＝営業利益－IAS第41号「農業」適用による影響額－その他の収益及び費用－一時的な収益及び費用
- (3) コアEBITDA＝コア営業利益＋減価償却費及び償却費
- (4) コアEBITDAマージン＝コアEBITDA÷売上収益
- (5) IAS第41号「農業」適用による影響額とは、IAS第41号「農業」を適用し、きのこの生産工程である仕込みから収穫時までのきのこを生物資産として、売却費用控除後の公正価値で測定するものであり、当該公正価値の変動による利得及び損失を影響額としております。
- (6) その他の収益及び費用とは、主に減損損失、固定資産除却損等となります。
- (7) 一時的な収益及び費用とは、通常の営業活動では発生しない一過性の収益及び費用となります。なお、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間において、一時的な収益及び費用の発生はありません。
- (8) コア営業利益、コアEBITDA及びコアEBITDAマージンはIFRSにより規定された指標ではなく、投資家が当社グループの業績を評価する上で、当社グループが有用であると考えられる財務指標であります。当該財務指標は、非経常的損益項目及び競合他社に対する当社グループの業績を適切に示さない項目の影響を除外しております。なお、コア営業利益、コアEBITDA及びコアEBITDAマージンは、IFRSに準拠して表示された他の指標の代替的指標として考慮されるべきではありません。当社グループにおけるコア営業利益、コアEBITDA及びコアEBITDAマージンは、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があります、その結果、有用性が低下する可能性があります。

(決算補足説明資料（決算説明資料）の入手方法について)

決算補足説明資料（決算説明資料）は、T D n e t で開示するとともに、2024年8月8日付にて当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり利益) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日）における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴う経済活動の正常化により、インバウンド需要の増加や個人消費の回復の動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、緊迫する国際情勢やエネルギー価格の高止まり、人材不足による労務費の増加、為替の動向などに起因する物価上昇に、賃金の伸びが追いついておらず、消費者の節約志向は一層の強まりを見せております。

このような経済環境の中、当社グループは、2023年12月に刷新いたしました中期経営計画の達成に向け、国内・既存事業の更なる強化に留まらず、海外市場や新規領域へ積極展開し、多様な事業ポートフォリオを構築するべく活動を進めております。その具体施策といたしまして、前連結会計年度のオランダ進出による本格的な海外展開に続き、当連結会計年度におきましては、新規事業として取り組んできた、きのこの「代替肉」の発売を予定しております。

この大きな転換期を迎えるにあたり、当社は、2024年6月26日開催の第7期定時株主総会におきまして商号の変更による定款一部変更議案の承認をいただき、2025年4月1日よりユキグニファクトリー株式会社（英文商号：YUKIGUNI FACTORY CO., LTD.）に社名（コーポレートブランド）を刷新することといたしました。自らのコアバリュー・独自性を改めて見直し、引き継いでいくべき伝統と信頼、そして未来に向かってのあるべき姿を見据え、その思いと決意を胸に、このたび相応しい社名に一新いたします。なお、今回の商号変更に至った背景、新たな価値観、ブランド構成イメージ等につきましては、2024年6月3日付にて当社ホームページで公表いたしました「社名（コーポレートブランド）刷新の背景と目的について」をご覧ください。

今までも、そしてこれからも、自然からの恩恵であるきのこの可能性を、雪国で磨いた技術や探求心により最大限引き出し魅力的な製品を開発することで、持続的な成長へと繋げてまいります。

当第1四半期連結累計期間の収益は、10,172百万円（前年同期比22.9%増）、このうち、売上収益は、7,419百万円（同12.8%増）となりました。また、売上総利益は、2,015百万円（同27.7%増）となりました。販売費及び一般管理費は、2,074百万円（同10.1%増）となりました。

以上の結果、営業損失は、77百万円（前年同期は営業損失315百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は、92百万円（前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失283百万円）となりました。なお、当第1四半期連結累計期間においては、IAS第41号「農業」の適用に関する公正価値変動による利得が、収益に2,752百万円（前年同期比62.3%増）、売上原価に2,828百万円（同60.2%増）、それぞれ含まれております。

[2025年3月期第1四半期連結累計期間業績]

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	増減率 (%)
売上収益	6,578	7,419	12.8
公正価値変動による利得	1,696	2,752	62.3
収益合計	8,274	10,172	22.9
営業損失(△)	△315	△77	-
税引前四半期損失(△)	△413	△90	-
親会社の所有者に帰属する 四半期損失(△)	△283	△92	-

当第1四半期連結累計期間における事業セグメント別の売上収益の状況は、次のとおりであります。

[茸事業]

① まいたけ

ヘルシー且つ旨味成分豊富なまいたけを、消費者の皆様のニーズに合わせて手軽に美味しく調理していただけるよう、他食品メーカーとの共同企画により幅広いメニュー提案を展開する等、まいたけの魅力や調理の汎用性の高さを訴求した販売施策に取り組み、需要拡大を推進しております。また、白まいたけを含めた豊富な商品ラインアップを活かし、店頭シェアの拡大及びプレミアムブランド戦略の強化に努めております。

前年同期に比べ販売量は減少いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間においては、まいたけ事業の売上収益は、3,563百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

② エリンギ

小型パックから大型パックまで各種量目を取り揃えた定番トレー製品をはじめ、利便性の高いスライス製品等、お客様ニーズに応じた多様な商品提案に取り組んでおります。

前年同期に比べ販売量は減少いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間においては、エリンギ事業の売上収益は、905百万円（同5.4%増）となりました。

③ ぶなしめじ

青果市況と市場の動向を注視しながら、需給バランスに応じて1株製品と2株製品といった量目の異なる製品を活用した柔軟な製品投入を実施し、安定供給に取り組んでおります。

前年同期に比べ販売量はやや減少いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間においては、ぶなしめじ事業の売上収益は、1,601百万円（同9.1%増）となりました。

④ その他の茸

マッシュルームは、生産状況の安定化に注力するとともに、販促企画の実施等により販売強化及び新たな需要創造に取り組んでおります。これにより、前年同期に比べ販売は好調に推移いたしました。一方で、本しめじ及びはたけしめじの販売については前年同期に比べ低調に推移いたしました。また、2023年12月に当社グループ傘下におさめました海外事業会社にて扱うマッシュルーム、エキゾチック・マッシュルーム（シイタケやヒラタケなど、日本国内にて呼称されるマッシュルーム以外のきのこの総称）の売上収益が、本セグメントの売上収益に含まれているため、前年同期に対し大きく上回っております。この結果、当第1四半期連結累計期間においては、その他の茸事業の売上収益は、1,269百万円（同69.4%増）となりました。

[その他]

その他の売上収益は、主に健康食品の販売及び瑞穂農林株式会社取り扱いの培地活性剤によるものであります。当第1四半期連結累計期間においては、健康食品の販売量は減少いたしました。この結果、その他の売上収益は、78百万円（同14.0%増）となりました。

各事業セグメント別売上収益は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	増減率 (%)
茸事業	6,509	7,340	12.8
まいたけ	3,433	3,563	3.8
エリンギ	859	905	5.4
ぶなしめじ	1,466	1,601	9.1
その他の茸	749	1,269	69.4
その他	69	78	14.0
売上収益	6,578	7,419	12.8

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末(2024年6月30日時点)の資産合計は、36,578百万円(前連結会計年度末比1,426百万円減)となりました。流動資産は、9,078百万円(同1,536百万円減)となりました。これは主に、現金及び現金同等物が947百万円、営業債権及びその他の債権が654百万円、公正価値変動による利得により生物資産が325百万円、それぞれ減少した一方、棚卸資産が412百万円増加したこと等によるものであります。非流動資産は、27,499百万円(同110百万円増)となりました。これは主に、有形固定資産が63百万円、のれん及び無形資産が34百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、25,528百万円(同955百万円減)となりました。流動負債は、8,423百万円(同855百万円減)となりました。これは主に、未払法人所得税が926百万円、その他の負債が625百万円、従業員給付に係る負債が387百万円、それぞれ減少した一方、短期借入金が700百万円、営業債務及びその他の債務が350百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。非流動負債は、17,105百万円(同100百万円減)となりました。これは主に、約定返済等により借入金が126百万円減少したこと等によるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、11,049百万円(同470百万円減)となりました。これは主に、四半期損失の計上及び期末配当の実施等により利益剰余金が491百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ947百万円減少し、1,850百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、707百万円(前年同期は452百万円の使用)となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の減少額662百万円、減価償却費及び償却費568百万円の計上があった一方、棚卸資産の増加額409百万円、従業員給付に係る負債の減少額386百万円、法人所得税の支払い933百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、373百万円(前年同期は215百万円の使用)となりました。これは主に、葺事業に係る設備更新等に伴う有形固定資産の取得による支出382百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、121百万円(前年同期は836百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の借入による収入700百万円があった一方、配当金の支払い395百万円、長期借入金の返済による支出128百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,797	1,850
営業債権及びその他の債権	3,211	2,557
棚卸資産	1,476	1,888
生物資産	2,939	2,613
その他の資産	189	168
流動資産合計	10,615	9,078
非流動資産		
有形固定資産	19,424	19,487
投資不動産	95	95
のれん及び無形資産	5,961	5,995
使用権資産	261	262
退職給付に係る資産	303	304
その他の金融資産	213	215
繰延税金資産	1,059	1,063
その他の資産	69	73
非流動資産合計	27,389	27,499
資産合計	38,004	36,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2024年6月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	3,570	3,921
未払法人所得税	940	13
従業員給付に係る負債	2,138	1,751
短期借入金	-	700
1年内返済予定の長期借入金	1,422	1,422
リース負債	137	143
引当金	177	57
その他の金融負債	115	263
その他の負債	776	150
流動負債合計	9,278	8,423
非流動負債		
借入金	16,857	16,731
リース負債	196	205
引当金	21	21
その他の金融負債	130	146
その他の負債	0	0
非流動負債合計	17,205	17,105
負債合計	26,484	25,528
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	△6,067	△6,064
利益剰余金	17,413	16,921
自己株式	△17	△17
その他の資本の構成要素	25	49
親会社の所有者に帰属する持分合計	11,454	10,988
非支配持分	66	61
資本合計	11,520	11,049
負債及び資本合計	38,004	36,578

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
収益		
売上収益	6,578	7,419
公正価値変動による利得	1,696	2,752
収益合計	8,274	10,172
売上原価 (*1)	6,696	8,156
売上総利益	1,578	2,015
販売費及び一般管理費	1,883	2,074
その他の収益	23	8
その他の費用	32	27
営業損失 (△)	△315	△77
金融収益	2	55
金融費用	100	68
税引前四半期損失 (△)	△413	△90
法人所得税費用	△130	3
四半期損失 (△)	△283	△93
四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	△283	△92
非支配持分	-	△1
1株当たり四半期損失 (△)		
基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	△7.11	△2.33
希薄化後1株当たり四半期損失 (△) (円)	△7.11	△2.33

経営者は同業他社との比較可能性を勘案し、「材料費、人件費等」の情報は財務諸表利用者にとって有用であると考えていることから、要約四半期連結損益計算書に注記として自主的に開示しております。「材料費、人件費等」は、IAS第41号「農業」に基づき認識した公正価値変動による利得を含まない当社グループが販売した製品の製造原価及び商品の仕入原価であります。

(*1) 売上原価の内訳		
材料費、人件費等	4,930	5,328
公正価値変動による利得	1,766	2,828
合計	6,696	8,156

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期損失(△)	△283	△93
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融資産	2	1
純損益に振り替えられることのない項目合計	2	1
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	-	22
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	-	22
その他の包括利益(税効果控除後)合計	2	23
四半期包括利益	△280	△70
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△280	△69
非支配持分	-	△1

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年4月1日残高	100	△6,012	16,341	△33	14	10,409	△0	10,409
四半期損失(△)	-	-	△283	-	-	△283	-	△283
その他の包括利益	-	-	-	-	2	2	-	2
四半期包括利益合計	-	-	△283	-	2	△280	-	△280
株式報酬取引	-	2	-	-	-	2	-	2
剰余金の配当	-	-	△239	-	-	△239	-	△239
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引額等合計	-	2	△239	-	-	△236	-	△236
2023年6月30日時点の残高	100	△6,010	15,818	△33	16	9,892	△0	9,892

当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年4月1日残高	100	△6,067	17,413	△17	25	11,454	66	11,520
四半期損失(△)	-	-	△92	-	-	△92	△1	△93
その他の包括利益	-	-	-	-	23	23	-	23
四半期包括利益合計	-	-	△92	-	23	△69	△1	△70
株式報酬取引	-	2	-	-	-	2	-	2
剰余金の配当	-	-	△398	-	-	△398	-	△398
その他	-	-	-	-	-	-	△3	△3
所有者との取引額等合計	-	2	△398	-	-	△396	△3	△400
2024年6月30日時点の残高	100	△6,064	16,921	△17	49	10,988	61	11,049

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期損失 (△)	△413	△90
減価償却費及び償却費	537	568
支払利息	96	55
シンジケートローン手数料	4	-
固定資産除却損	27	20
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	310	662
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△165	△409
生物資産の増減額 (△は増加)	193	328
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	198	83
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2	△0
従業員給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△217	△386
その他	△298	△585
小計	268	245
利息の支払額	△26	△16
シンジケートローン手数料の支払額	△3	△3
法人所得税の支払額	△691	△933
営業活動によるキャッシュ・フロー	△452	△707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△201	△382
その他	△14	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	1,900	700
長期借入金の返済による支出	△770	△128
リース負債の返済による支出	△57	△54
配当金の支払額	△236	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	836	121
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	0	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	168	△947
現金及び現金同等物の期首残高	1,060	2,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,229	1,850

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 報告セグメント

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品及びサービスについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開している「茸事業」を報告セグメントとしております。「その他」は報告セグメントに含まれない事業が含まれております。

なお、まいたけ事業、エリンギ事業及びぶなしめじ事業等は、売上収益の推移など経済的特徴が概ね類似しており、かつ、(a) 製品及びサービスの性質、(b) 生産過程の性質、(c) 当該製品及びサービスの顧客の類型又は種類、(d) 当該製品の配送又は当該サービスの提供のために使用する方法、(e) 規制環境の性質のすべてが類似しているため、「茸事業」として集約してしております。報告セグメントの事業内容は次のとおりであります。

	事業内容
茸事業	まいたけ、エリンギ、ぶなしめじ等、茸製品の製造販売

② 報告セグメント情報

報告セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

(単位：百万円)

	茸事業	その他	合計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
売上収益					
外部顧客への売上収益	6,509	69	6,578	-	6,578
セグメント間の内部売上収益	-	-	-	-	-
計	6,509	69	6,578	-	6,578
セグメント利益（△は損失）	△315	6	△309	△5	△315
金融収益					2
金融費用					100
税引前四半期損失（△）					△413

(注) セグメント利益（△は損失）の調整額には、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

(単位：百万円)

	茸事業	その他	合計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
売上収益					
外部顧客への売上収益	7,340	78	7,419	-	7,419
セグメント間の内部売上収益	-	-	-	-	-
計	7,340	78	7,419	-	7,419
セグメント利益（△は損失）	△79	2	△76	△0	△77
金融収益					55
金融費用					68
税引前四半期損失（△）					△90

(注) セグメント利益（△は損失）の調整額には、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期損失及び希薄化後1株当たり四半期損失の算定基礎は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
基本的1株当たり四半期損失算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)(百万円)	△283	△92
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益(百万円)	-	-
基本的1株当たり四半期損失の計算に使用する 四半期損失(△)(百万円)	△283	△92
期中平均普通株式数(千株)	39,871	39,884
基本的1株当たり四半期損失(△)(円)	△7.11	△2.33
希薄化後1株当たり四半期損失算定上の基礎		
基本的1株当たり四半期損失の計算に使用する 四半期損失(△)(百万円)	△283	△92
四半期利益調整額(百万円)	-	-
希薄化後1株当たり四半期損失の計算に使用する 四半期損失(△)(百万円)	△283	△92
期中平均普通株式数(千株)	39,871	39,884
希薄化後期中平均普通株式数(千株)	39,871	39,884
希薄化後1株当たり四半期損失(△)(円)	△7.11	△2.33

(重要な後発事象)

該当事項はありません。